

たいし 議会だより

第132号

発行 / 太子町議会 編集 / 議会広報委員会

臨時議会 新しい議会構成決まる	p 1 ~ p 4
平成22年 9月定例会で決まったこと	p 5 ~ p 8
5議員が 町政を問う (一般質問)	p 9 ~ p 11
議会の動き	p 12

新しい議会構成決まる

平成22年10月22日に第1回臨時会が招集され、正副議長の選挙、常任委員会、議会運営委員会などの各委員の選任が行われました。

就任あいさつ

議長 (第36代)

山田 強



私たちは、この度、10月の臨時会におきまして議長、副議長、監査委員に就任致しました。まことに光栄でありますとともに、その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

副議長

阪口 寛



さて、昨年の政権交代から先の参議院選挙の結果、いわゆる「ねじれ国会」という非常に不安定な国政の状況が続いております。私たち地方自治体を取り巻く環境も依然厳しく、財政問題をはじめとする難問が山積しております。太子町議会と致しましても、

監査委員

田中 祐二



将来の太子町にとって何をすべきかを第一に考え、先を見据えた町政運営に、全力で取り組んで参りたいと思っております。

今後とも、皆様方のなご一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

常任委員会

2つの常任委員会に分かれ、所管の事項について
審議を行います。



総務・まちづくり 常任委員会

所管は、総務部
(総務室・住民
室・出納室)、ま
ちづくり推進部
(地域整備室・生
活環境室)及び議
会事務局に関する
事項

委員長

中村 直幸

副委員長

吉井 大晶

委員

阪口 寛

大鳥 正弘

田中 祐二

大鳥委員
山田議長

田中委員
中村委員長

阪口委員
吉井副委員長



福祉・文教 常任委員会

所管は、健康福
祉部(福祉室・健
康医療室)、及び
教育委員会(教育
振興室)に関する
事項

委員長

森田 忠彦

副委員長

浅尾よしこ

委員

西田いく子

山本 朝雄

建石 良明

羽山 茂男

山本委員
山田議長

羽山委員
森田委員長

西田委員
浅尾副委員長



議会運営委員会

議会が円滑に進
むよう議事日程や
運営等を協議しま
す。

委員長

羽山 茂男

副委員長

山本 朝雄

委員

阪口 寛

建石 良明

中村 直幸

森田 忠彦

議会広報委員会

『議会だより』を
作成し、発行しま
す。

委員長

西田いく子

副委員長

浅尾よしこ

委員

吉井 大晶

大鳥 正弘

田中 祐二

山田 強

特別委員会

土地利用対策 調査特別委員会

委員長

山本 朝雄

副委員長

大鳥 正弘

委員

阪口 寛

建石 良明

中村 直幸

羽山 茂男

組合議会議員

南河内 環境事業組合

建石 良明

南河内広域行政 推進協議会

西田いく子
大鳥 正弘



花け生1階舎庁

会派構成

政友クラブ

- ◎ 建石 良明
- 田中 祐二
- 大鳥 正弘
- 中村 直幸
- 森田 忠彦
- 山田 強

日本共産党

- ◎ 西田いく子
- 阪口 寛

公明クラブ

- ◎ 羽山 茂男

民主党

- ◎ 山本 朝雄

さつきクラブ

- ◎ 浅尾よしこ

太子クラブ

- ◎ 吉井 大晶

- ◎ 幹事長
- 副幹事長

会派とは、議会内に結成された議員の同志的集合体のことをいい太子町議会では、6会派あります。



大鳥 正弘
春日1740 ☎98-0283



田中 祐二
春日1435-5 ☎98-4532



建石 良明
山田3655-2 ☎98-5014



山田 強
春日1752 ☎98-0863



森田 忠彦
山田2880 ☎98-0022



中村 直幸
山田823-115 ☎98-3566



羽山 茂男
山田2979 ☎98-0579



西田 いく子
春日98-429 ☎98-1655



阪口 寛
春日98-181 ☎98-2199



吉井 大晶
春日352-14 ☎98-5212



浅尾 よしこ
山田2662-1 ☎98-0078



山本 朝雄
山田601 ☎98-1123

10月臨時会

任命同意

任期満了に伴い次の方を全会一致で任命に同意しました。

教育委員会委員

安井 千佳 氏

【任期】

平成22年11月21日から26年11月20日まで。



本会議場

各種委員会・協議会等委員

都計審・農振整促協議会	
阪口	寛
建石	良明
山田	強

上水道事業運営審議会	
阪口	寛
建石	良明

学校給食運営委員会	
羽山	茂男

介護保険事業計画推進委員会	
西田	いく子

表彰審査会	
田中	祐二

民生委員推薦会	
中村	直幸

人権尊重のまちづくり審議会	
浅尾	よしこ

ゴルフ場環境保全協議会	
森田	忠彦
山田	強

保健事業推進協議会	
大鳥	正弘

交通事故をなくす運動推進協議会	
浅尾	よしこ
吉井	大晶
中村	直幸
森田	忠彦

人権協会	
大鳥	正弘

歴史資料館運営審議会	
山本	朝雄

国民健康保険運営協議会	
西田	いく子
山本	朝雄

献血推進協議会	
吉井	大晶
田中	祐二



菊花展（文化祭にて）

平成22年第1回臨時会 議決結果一覧表

件名	結果
議長の選挙	投票
副議長の選挙	投票
常任委員会委員の選任 (総務まちづくり・福祉文教)	選任
議会運営委員会委員の選任	選任
特別委員会委員の選任	選任
南河内環境事業組合議会議員の選挙	指名推選
教育委員会委員の任命について同意を 求める件	同意
監査委員の選任について同意を求める 件	同意

4324万円

は、どう使われたのか

1億7059万1千円の黒字決算



福祉センター改修事業



教育施設老朽化対策事業
(山田小学校プール防水改修工事)

9月定例会
まじごんをいじぎを決めました

9月定例会は、9月2日から、22日までの21日間にわたり開会されました。

町長より平成21年度一般会計歳入歳出決算認定、ほか20件の議案が提出され、それぞれ可決・認定・同意されました。



一般会計

問 観光パンフレットの活用状況は。

答 ハイキング客への窓口配布、観光イベントでのPRに使用している。

問 中山間地域等直接支払制度事業が終了。今後の対策は。

答 農家からの意見を取り入れ、獣害対策に重点を置いていく。

問 税の不納欠損決定の経過は。強硬手段を取ったことがあるか。

答 地方税法に基づき、時効等により処理。不動産の公売等の強硬手段はとっていないが、財産の差し押さえなどは実行している。

質疑

問 職員厚生会の互助会は民間委託か。

答 府市町村互助会が解散。府内全町村が民間へ委託している。

【内容】対前年比で、歳入歳出とも大幅増。実質収支は、645万4千円減少したものの昨年度とほぼ同水準の1億4937万3千円の黒字。単年度収支は、5621万4千円減の645万4千円の赤字。実質単年度収支は497万8千円増の1億4679万8千円の黒字となった。

平成21年度 各会計の決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	47億1326万3千円	45億4267万2千円	1億7059万1千円	
国民健康保険特別会計	13億0467万4千円	12億8285万6千円	2181万8千円	
山田財産区特別会計	8430万円	499万8千円	343万2千円	
老人保健特別会計	1504万5千円	130万7千円	1373万8千円	
春日財産区特別会計	78万3千円	59万8千円	18万5千円	
下水道事業特別会計	3億9346万2千円	3億9346万2千円	0円	
介護保険特別会計	7億9670万5千円	7億7399万3千円	2271万2千円	
後期高齢者医療特別会計	1億2358万1千円	1億2001万6千円	356万5千円	
水道事業会計	収益的収支	2億8729万6千円	2億7296万6千円	1433万円
	資本的収支	0円	7239万2千円	△7239万2千円
合計	76億4324万円	74億6526万円		

※小計及び合計は表示単位未満四捨五入のため、各会計の合計と一致しない場合があります。

※水道事業会計の資本的収支の差引△7239万2千円は、内部留保資金等により補てんされています。

平成21年度 決算認定

総額76億

21年度一般会計

平成21年度 主な実施事業

- 町道維持管理／
- 学校給食センター維持管理事業／
- 図書室のリニューアル／
- 子どもの医療費助成、小学校卒業まで（入院のみ）拡充／
- 妊婦検診、14回に充実など



学校ITC環境整備事業

問 平成21年度、地域活性化臨時交付金の総額は。

答 総額は、9829万6千円。

問 乳幼児医療費の不用額の要因は。

答 当初予算270万円で、実績は50万円程度だった。主にけがで入院という実例が多かった。

問 各学校の校門でのボランティアの活動状況は。

答 施錠の機械化と防犯カメラを整備し、現在は毎週月曜の朝に活動していただいている。

問 民生委員は国の委嘱であり、大変な業務なのに国からの補助はないのか。

答 年間の交通、通信等の必要経費が出ているのみ。

討論

【反対】 国民のくらしは、長年続く国民所得の減少により苦しさが増している。町は、住民のくらしを守り、応援する町政を進めるべき。21年度も黒字。一般財源を積極的に繰入れ、福祉、農商工業への施策、循環バスなど交通手段の確保、中学校給食のための調査研究など求める。

【賛成】 国の経済対策による地域活性化交付金などを有効に活用することにより、安全安心のまちづくり、緊急・必要性の高い事業に取り組んだ。

行財政改革による経費節減や各種歳入の確保に努めたことにより、当初見込まれていた財政調整基金を取り崩すことなく実施したのになつており、収支黒字を確保したことは、一定の評価に値する。

平成21年度 積立金現在高

一般会計	財政調整基金	8億331万4千円	
	減債基金	777万8千円	
	特定目的基金	退職手当基金	3933万6千円
		老人福祉基金	369万6千円
		公共施設整備基金	2億6542万3千円
		環境衛生等基金	2140万5千円
		太子まちづくり「夢」基金	2556万5千円
		たいし・ふれ愛福祉基金	2955万6千円
		聖和台汚水排水処理施設基金	1400万9千円
		ふるさと太子応援基金	736万1千円
	他会計	国民健康保険事業財政調整基金	5591万8千円
介護基金		3976万8千円	
水道事業積立金		3億2100万円	
合計		16億3412万9千円	

平成21年度 地方債現在高

一般会計	一般公共事業債	7395万3千円
	一般単独事業債	14億1901万7千円
	学校教育施設等整備事業債	4億3473万1千円
	厚生福祉施設整備事業債	2013万円
	臨時財政対策債	18億6826万4千円
	大阪府貸付金	2億7171万5千円
	その他	6億2992万9千円
	他会計	下水道事業公債費
水道事業企業債		5億3565万3千円
合計		83億1616万4千円

国民健康保険

質疑

問 財政調整基金が減っており、保険料を下げているが財政状況は大丈夫か。

答 広域化の案という話も出ているが、当面は財政調整基金を運用していく。

問 若年層の加入増の現状とその原因は。

答 35歳から45歳の非自発的失業者の加入が他の市町村に比べて増加している。



新しくカード化された保険証

下水道事業

質疑

問 健全化で下水道料金が値上げになるが、下水道使用者のみを負担を求めるとはおかしいのでは。

答 一般会計からの基準外の繰入が他の市町村と比べて多い。特別会計ではあるが、本来は独立採算制で経営するのが原則である。

問 水洗化率の進捗状況は。

答 本年4月以降約40件あまり接続されており、水洗化率を向上させるために努力している。



水洗化率の向上を

介護保険

質疑

問 第3期の余剰金についての説明を。

答 介護給付費準備基金の第3期の残は第4期に充当するという計画で保険料を上げずに据え置いている。

問 介護従事者処遇改善の3%の介護報酬アップの効果はあるのか。

答 実績としては太子町ではあまり反映されていないが、夜間の介護従事者の配置など事業者の運用で報酬は上がると考える。別の制度で大阪府に申請する介護職員処遇改善交付金は一人当たり1万5千円の賃金を上げた実績に基づいて交付するため、町内全ての事業所が申請されている。

後期高齢者

質疑

問 本町の平成21年度の給付の状況は。

答 広域連合からの報告は今の時点ではなく、遅れて報告はくるが、従来、本町は低い給付費で推移している。

討論

【反対】 75歳以上の人を74歳以下の人と別々の保険に強制的に囲い込んだ。医療に費用がかかる高齢者だけの医療保険をつくれれば、保険料の値上げは避けられない。

資格証明書を発行しないこと、高齢者を75歳で差別をして、医療から排除するという世界でも例を見ない後期高齢者医療制度を、キツパリと廃止すること

を求め、反対する。

【賛成】 25年度からは高齢者のための新たな医療制度を構築するとしている中、21年度予算の執行は、適正に事務処理されている。引き続き後期高齢者医療広域連合と連携しながら、制度の円滑な運営に努められること、制度改革時は、迅速・的確に対応することを求め、賛成する。

が、技術職も減員しているのか。

答 事務職の削減であり、技術職は減員していない。

補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	1億6919万2千円	43億2829万円
国民健康保険	2295万円	14億1194万2千円
老人保健	1373万6千円	2411万6千円
下水道事業	246万3千円	3億2787万円
介護保険	2061万7千円	8億6588万7千円

質疑

問 他町において水道料金未納通知の誤送があったようだが本町では。

答 本町では複数の職員による確認をしている。

問 ここ数年、水道職員が減員されている

●一般会計補正

質疑

問 たいしくんの着ぐるみは、どれくらい頻度で出るのか。

答 週1回から2回程度。今後の予定は御堂筋カッポ、3町交流や、彦根市で行われる全国ゆるキャライベント等。

問 税務の電子計算費でのASPとはなにか、その財源はあるのか。

答 ASPは、今まで紙媒体で税務署から確定申告の市町村控えを送付してもらっていたものを、電算媒体で通信するもの。財源は、地方交付税に算入されている。

問 子宮頸がんのワクチン接種への考え方は。

答 現状では全国で30から40市町村で補助の実施しており、国で三分の一助成の予算案を検討されている。

問 女性特有のがん検診推進事業の対象人数は。

答 子宮頸がんが、456名、乳がんが、539名。

条例改正

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例改正の件

【内容】

- ・育児短時間勤務制度の導入
- ・3歳に満たない子の育児を行う職員等の所定労働時間外労働時間の免除等

質疑

問 組合と合意されているが、他に問題点は。

はなかったか。

答 条例ではないが、規則改正の中で子どもの看護休暇について、現状小学校就学前までのものを小学校卒業までとの要望があった。

その他

●大阪広域水道企業団の設置に関する協議

質疑

問 企業団のメリットは。

答 経営が府から受水市町村へ変わるため、各市町村が意見を反映できる事、職員や技術者の大量の退職、水道施設の更新等の課題について、技術支援を受けることができること等がある。

問 本町では工業用水は少なく、工業地帯

を持つ市町村とでは立場が違う。30人という議員定数で意見は、反映できるのか。

答 工業地帯である堺市と高石市について工業用水枠として2名の議員枠があるが、その他28名は生活用水としての通常枠なので十分意見を反映できると考える。

選任同意

●固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件

河波 正昭 氏

【任期】平成25年9月28日まで。

●人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件

岡田 節子 氏

筒井 一太 氏

【任期】平成25年9月30日まで。

第3回定例会 議決結果一覧表

件名	結果
◆決算認定 一般会計	賛成多数
国民健康保険特別会計	認定
山田財産区特別会計	認定
老人保健特別会計	認定
春日財産区特別会計	認定
下水道事業特別会計	認定
介護保険特別会計	認定
後期高齢者医療特別会計	賛成多数
水道事業会計	認定
◆補正予算 一般会計(第2号)	可決
国民健康保険特別会計(第1号)	可決
老人保健特別会計(第1号)	可決
下水道事業特別会計(第2号)	可決
介護保険特別会計(第1号)	可決
◆条例改正 職員の勤務時間、休暇等に関する条例 中改正の件	可決
職員の育児休業等に関する条例 中改正の件	可決
◆その他 大阪広域水道企業団の設置に関する協議 について。	可決
固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	同意
人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	適任
土地開発公社事業決算報告の件	報告
21年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告の件	報告

9月定例会の一般質問

町政を問う

5人の議員が登壇

高すぎる国保料は、国の責任で引き下げを…………… P 9
 熱中症対策を…………… P 9
 住民奉仕を担う職員の労働条件改善を…………… P 10
 「地域主権」改革をどう考えるか…………… P 10
 教育施設の整備について…………… P 10
 歴史遺産の活用について…………… P 10
 太子町における産業振興について…………… P 11
 大阪府から権限移譲される事務について…………… P 11

高すぎる国保料は、 国の責任で引き下げを

西田いく子 議員

問 多くの自治体で国保料は年収200万円台で30万円、40万円の負担を強いられるなど、住民の負担能力をはるかに超える額となっている。払いたくても払えない高過ぎる国保料、増え続ける無保険者、貧困と格差が広がる中で国民皆保険制度の根幹である国民健康保険制度が危機的状況に。

答 ①特に大きな影響はなかったと考える。国保は低所得者や高齢者が多いという問題を抱えている為、財政運営が厳しい。国に対しては、国庫負担拡充の要望を毎年行っている。

問 今年の夏の暑さは尋常ではない。熱中症による救急搬送・死亡事故が激増。対策を。

Q 熱中症対策を

②民主党は将来的には医療保険を一元化するため、国保の広域化を狙っている。広域化が、低所得者が多い国保加入者を助けることにつながるかと考えるのか。

答 ①見守りネットワークによる注意喚起、広報無線・ポスター等で予防を呼びかけた。

③7月22日の橋下知事と国保の広域化についての協議での内容は、町長は賛同するのか。

②温度計で室温管理を行い、扇風機などによる通気の確保に努めた。府内の公立小中学校クーラー設置率は、25%。クーラー設置は、年次計画的な学校施設の耐震化を進めている現状下であり、困難。

命と健康を守る公的医療保険が、くらしを脅かし、貧困に苦しむ人を医療から排除するなど本末転倒。
国は84年に定率国庫負担を医療費45%から給付費50%に改定した。これにより国保の総収入に占める国庫支出金の割合が07年度には25%にまで落ち込んだ。
①町は、国保料高騰の要因に国が国庫負担金を削減してきたことがあげられると考えているのか。

②医療制度改革大綱で、市町村国保の広域化につながる見直しを行うとされており、広域化が必要だと認識する。

③市町村側から、府で強いリーダーシップを発揮するよう申し入れが行われ、法定外繰り入れなしを前提に、府内統一の保険料を算定

住民奉仕を担う職員の労働条件改善を

阪口 寛 議員

問 国の悪政で、税や保険料負担が増え、実際の窓口になる職員に対して、住民の目が厳しくなっていると98・6%の回答が寄せられている。(社会経済生産性本部の調査)

この間の機構改革、職員の採用、臨時職員の比率、人材育成と研修制度について尋ねる。

また、人事院は今年度も給与、期末手当の引き下げを勧告したが、職員の賃金はどうか、あるべきか、そして、労働条件の改善、健康面に対する配慮など、職員が安心して、自信を持って働けるよう、どのように取り組んでいるか。

答 機構改革によって、職員の意識改革にさらに努める。職員数は適正な定員管理に努め119名、非正規職員は嘱託職員23名、臨時職員26名で、正規職員と非正規職員の業務

分担の区別化を図りながら、職員採用は退職者の範囲内で計画的に採用する。人材育成については基本方針の策定・検討を行なっている。

して、全国の地方自治体は財政危機に陥った。「地域主権改革」も住民の福祉、国民の人権をどう実現するかの視点での分権論ではない。今後、どう臨むのか。

要望

民間と公務員の所得減少競争ではなく、職員の賃金確保に努力し、心身共に健康な職場環境をつくり、住民のくらしを応援し、やりがいのある住民奉仕を貫ける町政を求め

大阪府では、権限移譲に伴う広域連携が取り組まれようとしているが、必要性、住民へのメリット、財源は。

Q 「地域主権」改革をどう考えるか

問 自公政権の「地方分権改革」から新政権の「地域主権改革」に引き継がれたが、中身は同じ。国の財政赤字削減のために社会保障などの補助金を削減し、地方交付税を抑制

答 地方分権改革で財政が圧迫されたが、行政改革で乗り切った。今後、政府の地域主権改革は政治主導で実行して頂きたいと思っている。

広域連携は近隣3市2町1村で共同の事務移譲をすすめる。専門性の確保や人件費等のコストメリットがある。住民に対するメリットとして、身体障害者手帳の交付期間の短縮などがある。

教育施設の整備について

田中祐一 議員

問 太子町として永年の懸案事項の一つであった中学校の校舎の耐震化工事に、いよいよ来年度に着手することだが、その工事の工法の内容と期間・時期をどうするつもりなのか？

その財源のひとつである国による補助金の見直しは？

また中学校の校舎と体育館はともに約40年が経過し老朽化も著しい。この際、経費的にみて、また生徒の負担の面からみても効率的な整備ができるものについて実施する考えはあるのか？

答 具体的な整備手法としては、校舎の外壁に鋼管ブレースを設置すること、一部支柱への鋼板巻き、既存壁の補強等が主な内容で、工事時期は夏休み期間等を予定している。補助金については、国庫補助率の嵩上げ制

度の拡充について関係機関を通じて強く要望を行っている。

老朽化対策については、特に生徒の安全面を配慮する等、経済的かつ効果的な施設整備が図れるよう検討をしたい。

なお、中学校の体育館の耐震化については、校舎の整備後引き続き継続して整備したい。

Q 歴史遺産の活用について

問 現在お隣りの羽曳野市・藤井寺市・堺市において、仁徳・応神天皇陵をはじめとした多くの古墳を包括して「百舌鳥・古市古墳群」として、ユネスコの世界文化遺産登録に向けた活動が行われており、今年、文化庁の暫定リストに追加された。そのような動きに歴史遺産が豊富な太子町としてどのように対応しているか。

いく考えなのか？

答 今後、世界遺産に活用されるイベント等があれば是非積極的に参加し、歴史遺産の活用・アピールを共に出来るよう働きかけをおこない、太子町の素晴らしいところを広く紹介したい。また登録へむけた国への働きかけ等で本町に対し要望があれば、本町としても世界遺産に登録されることを願っており、適切に対応したい。



歴史遺産あふれる太子町(大道・竹内街道)

太子町における産業振興について

山本朝雄 議員

問 7月に河南町の議員と隠岐の島地方に研修にでかけた。

隠岐の島町は、平成16年に1町3村が合併され、総合計画策定において重点施策として、隠岐の島町の新産業の構築、環境産業と若者の定住の出来る施策を実行している。

隠岐の島町の水産業については、漁船数は動力船が381艘、船外機つきが288艘ある。

隠岐の島町周辺は、日本有数の漁業に恵まれていることから、まさあみ漁業を中心に水産業は島の重要な基幹産業となっている。

また、隠岐の島町は、大陸棚に位置し、大地震の発生率が大変低い為、IT産業の企業誘致に力を注いでいる。

古くは石器時代の黒曜石が産出されたと言われており、多くの歴史、史跡を活用し、島

の魅力を生かした観光をすすめている。太子町においても、ブドウ、ミカン、野菜等ブランド化しながら、若者の定住出来るまちづくりをすすめては。太子町での、取り組みは、どうなっているのか。

けでなく、消費者などに共感、愛情、満足度をもたらすことができ。このような方策が遊休農地を減少させ、ひいては農業の活性化につながるものと考えており、引き続き取り組みでいきたいと考える。

答 本町の特産品は、デラウェアやそれを原材料とした太子ワイン、巨峰、ピオーネ等の大粒ブドウ、温州ミカン、ナスなどの農産物がある。

このような、地域で栽培される農作物や加工品を太子ブランドとして広く販売することによって、自然、歴史、文化、産業などの地域性をアピールし、又ほかの地域と区別化することができる。

また、市場においての情報発信力や競争力の面で優位に立ち、地域住民の自信と誇りだ



太子町の特産品PR

大阪府から権限移譲される事務について

森田忠彦 議員

問 先日、新聞報道で南河内地域の6市町村が平成24年1月から行政事務の一部を共同で行うと発表された。

また、本年の10月1日から共同処理準備室を設置し、事務処理の共同化に向け検討を進めるということであり、身体障害者手帳の交付手続や開発許可等、41事務処理を共同化することのこと。

権限移譲を進めるには、町村等の小規模団体における事務執行を確保していく上で、広域連携による事務の共同処理は重要な選択肢の1つであり、行革により人員削減の中、限られた人員や財源を効率的に活用するためにも重要な手段であると認識している。

そこで、権限移譲に伴う広域連合について、これまでの経緯と事務処理を共同化することによる住民に対するメリット、デメリット

トについて答弁を。

答 住民に対するメリット、デメリットについて、3つの視点に立って移譲候補事務の検討を進めてきた。

1つ目は、移譲に伴い、住民の意向を反映したよりよい行政サービスが提供出来るのか、2つ目は、住民主導、住民本意の自主的かつ総合的な行政運営が可能となるのか、3つ目は、移譲事務を処理する為の必要な経費が府から措置されるかについて検討し、本町が単独で受ける事務、又広域連携で共同処理出来る事務について、大阪府のコーディネートを受けながら近隣市町村と協議を進めてきた。

その結果、府から提示された75事務のうち、町単独で行うNPO法人の設立許可等の事務26事務、広域連携で実施する開発行為の許可等の事務で40事務、合

わせて66事務について受け入れることとした。

要望 今後、多くの権限委譲を受けることにより、ますます仕事が多様化すると思う。行政のチェック機能である議会においても、必要、重要性を改めて感じているところであるが、職員においても、限られた人数の中、ぬかりのないようしっかりと住民のために頑張ってもらえるよう要望する。



権限移譲で事務はどうなるのか？

議会のうごき

研修報告

政友クラブ
公明クラブ
民主党
太子クラブ
さつきクラブ

10月7・8日と北陸方面で、五会派合同研修を行いました。
初日は、富山市内を堺市で導入が検討された路面電車LRTを利用して、薬の行商の起源など視察した後、展望塔のある富山市役所を敬訪問しました。美しい街並みは今後の太子町の景観作りの

参考になるものでした。

二日目は、宿泊場所からバスで20分ほどにある、地産地消を掲げ、その実践に取り組む『道の駅 氷見』を視察しました。

ここは、昔の港を有効活用した施設で、館内にはたくさん地元水産業者が入っており、すぐ近くの海でとれた新鮮な魚介類を販売しており、観光客に大変好評でありました。

次に、戦国大名・前田家を中心とした歴史と、加賀友禅などの伝統工芸を活かしたまちづくりが特色の金沢市を視察しました。



薬種商 池田屋前にて



路面電車を利用

最後は、小松航空プラザで、航空機の動力原理や歴史をエンジンやパネルを通じて勉強。

また、現役で活躍した自衛隊の航空機やヘリコプターも多数展示されており、尖閣諸島の事件が発生した中、改めて国土と自衛ということについて考えさせられました。

北陸の住民・自治体は百年に一度ともいわれる経済不況のなか、地域の特性を生かしたまちづくりとともに、新しいものも導入して、たくましく生活されているように感じました。



小松空港プラザにて

太子町の未来へのまちづくり、また日本国の国家安全保障の思いも新たに帰路に着きました。

編集後記

めっきり冬らしくなり寒さで忘れてしまいましたが、今年の夏は、気象庁が「明治31年の統計開始後、最高である」と報じたほど、例年になく記録的な猛暑となりました。地球温暖化をストップするためには、今を生きる私達の努力が必要です。

さて、10月の臨時議会を終え、広報委員のメンバーも新しくなりました。

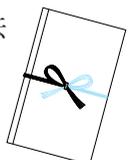
引きつづき、わかりやすく読みやすい紙面づくりに、委員一同力を合わせて取り組んでまいります。『議会だより』について、ご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。お待ちしております。



議員の香典・弔電を自粛、廃止しています

太子町議会では、町民の皆様の弔事に際しまして、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、議員個人の香典等を自粛する申し合わせを行っています。

皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



12月定例会は
11月29日開会です。

日程についてはホームページ、広報無線でお知らせします。

皆さんの傍聴を
お待ちしております。